

都市再生整備計画

せんがんざん まえじま
千巖山・前島地区

くまもとけん かみあまくさし
熊本県 上天草市

平成26年 4月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	熊本県	市町村名	上天草市	地区名	千歳山・前島地区	面積	15.3 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度				

目標

- 大目標：地域活性化に付与する拠点づくりと、景勝地としてふさわしい整備を行うことにより、観光客と地域住民との交流を促し、観光のまちづくりを目指す。
- 小目標① 前島エリアについては、上天草の海の玄関口としての拠点づくり、自然を楽しめる空間づくりと国道改修を含めた道路網の整備により観光客と市民の交流促進を図る。
- 小目標② 千歳山エリアについては、景勝地にふさわしい施設のユニバーサルデザイン化、資源の魅力を一層向上させる施設の連携、サインを含めた道路網の整備により地域の活性化を目指す。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

上天草市は、平成16年3月の大矢野町、松島町、姫戸町、龍ヶ岳町4町合併を受けて誕生したものであるが、合併当時35,600人を数えた人口も平成25年4月には30,600人と9年間で14%の人口減少を見るに至っている。本市は、有数の観光資源を持ち、これを有効に整備・活用することで活気溢れる「まちづくり」が可能だが、今までの取り組みは個々の地域や実施主体による「点」の取り組みに終始することがほとんどであり、それぞれの地域の特徴を活かし、その調和を図りながら一体的に展開する「面」としての取り組みがなされていなかった。

平成26年に市制10周年を迎える上天草市として、豊富な観光資源を活かした「まちづくり」を促進するため、中・長期的に官民が連携して観光資源の整備、活用の在り方、将来の観光都市上天草に向けた取り組みが求められている。

前島エリアは、天草五橋として池島、前島、天草上島を結ぶ4号橋、5号橋を含み、その自然景観と橋梁のコントラストにより天草観光のハイライトとなるエリアである。

また、多くの観光資源が既に立地しているがエリアの中心的役割を担う拠点が不足している。

千歳山地区については景勝地にふさわしい施設のユニバーサルデザイン化と資源の魅力向上

また、千歳山へのアクセス導入口となる合津港周辺には、松島温泉や足湯、遊覧船乗り場など立地しているとともに5号橋を下から眺める景観が楽しめる地区でもある。

このような現況のもと千歳山・前島エリアが上天草ランドデザインにおいて地域活性化の拠点と位置付けられているところである。

課題

前島地区については上天草市の海の玄関口としての拠点づくりが必要

- ・上天草市観光の核となるべきエリアで様々な施設が立地しているもののエリアの中心となるべき拠点設置が望まれる。
- ・天草パールライン沿い多くの物販や飲食の施設が立地しているが景観の統一性を求められている。
- ・上天草の自然や食など魅力を観光客に十分に伝えている状況になく、ゆったりと自然などを楽しめる施設・ソフトの提供が必要。
- ・時代のニーズにあった着地型観光、体験型観光などのニューツーリズムや海外旅行者の増加などに対応した観光空間の形成が必要。

千歳山地区については景勝地にふさわしい施設のユニバーサルデザイン化と資源の魅力向上

- ・駐車場から展望台に向かう道路は、車いす利用者等身障者が訪れられる施設となっておらずユニバーサルデザイン化の不足を見ている。
- ・展望台部には使用されていない施設が放置されているほか各施設の連携不足、魅力の活用不足が生じている。
- ・散策しやすい遊歩道等の不足
- ・サインの不足や狭隘の整備が必要。

将来ビジョン(中長期)

平成25年1月に公表された「上天草市ランドデザイン」及び「上天草市観光マスタープラン」を基として、観光ブランドを活かした地域活性化、上天草らしい暮らしの満足感を感じる定住環境の充実を戦略シナリオに掲げる。

前島エリアについては、上天草市観光の中心として、観光マスタープランで示された「美と癒しと食の楽園(パライソ)上天草」を体現するための施設集積を図る。

現在の施設集積や空地等の存在を踏まえて集中的なりゾート形成を図っていく。

千歳山エリアについては、千歳山に代表される自然が最も重要な要素である。

このため、集積する他の観光資源も活用しながら千歳山が持つ潜在能力を最大限に活用しての整備を図る。

ただし、国立公園区域内エリアであることから大規模な整備を行うのではなく、各資源の魅力を底上げし連携させるような基盤の整備やソフト施策の展開を目指す。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
上天草市年間観光入込客数	人/年	上天草における観光の拠点として、観光入込客の増加を拠点の認知度向上度合いと見る。	上天草を観光地として訪れていただく方々に、新たな観光拠点として前島、千歳山地区が認知されていく度合いが高まることにより年間観光入込客数の増加が数値として発現するものとして設定する。	137.0万人	H24	150.7万人	H30
上天草市年間宿泊者数	人/年	滞在型観光施設の増加による域内宿泊者数の増加度	整備を行っていく観光拠点が滞在型の施設と位置づけられることで、域内宿泊者の増加が見込めるものとして設定する。	23.6万人	H24	26.0万人	H30
前島地区住民の交通満足度	%	開発により影響を生じる前島地区に対し「交通の安全性」について満足度評価を見る。	上天草の観光拠点としての位置付けを行う前島地区において、域内の交通に影響を及ぼさない、開発を促進することにより満足度の向上が得られることを目標設定の一つとする。	35.7%	H25	39.3%	H30

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(上天草の海の玄関口としての拠点づくり) 上天草の観光の核となる拠点整備を進める。 前島周辺の自然や食などの魅力を十分に伝えるため、ゆったりと自然などを楽しめる施設整備を図る。 時代のニーズにあった着地型観光、体験型観光への転嫁を促進する。 上天草観光の核となる地域への交通網の整備、渋滞緩和に併せて地域住民の生活交通の改善を図る。</p>	<p>■前島地区グラウンド跡地整備事業【地域生活基盤事業：基幹事業】 ■前島地域観光交流拠点施設整備【高次都市施設整備：基幹事業】 ■前島展望デッキ整備【地域生活基盤施設：基幹事業】 ■域内遊歩道、サイクリングコース整備【地域生活基盤整備：基幹事業】 ■橋梁ライトアップ事業<検討>【高質空間形成施設：基幹事業】 ■夕日鑑賞環境砂浜整備事業【地域創造支援事業：提案事業】 ■観光交流施設内特産品展示施設整備【地域創造支援事業：提案事業】 □予想される渋滞を緩和するための右折車線の増設等【関連社会資本整備：道路】</p>
<p>整備方針2(景勝地にふさわしい施設のユニバーサルデザイン化と資源の魅力向上) 千歳山地域は上天草における重要な景勝地であるが、車いす利用者等身障者が訪れられる施設となっていないため施設ユニバーサルデザイン化の促進を促進する。 景勝地として散策しやすい遊歩道の整備。 サインの改善を図り、来訪者が利活用しやすい地域への改善を図る。</p>	<p>■天草絶景展望台整備事業【地域生活基盤整備：基幹事業】 ■安心・安全歩行者道整備【高質空間形成施設：基幹事業】 ■千歳山関連施設のユニバーサルデザイン化【高質空間形成施設：基幹事業】 ■サイン・情報提供施設の整備【地域生活基盤整備：基幹事業】</p>
<p>.</p>	
<p>その他 ○住民参加によるまちづくりの展開 ・前島地区グラウンド跡地は地域高齢者をはじめとした憩いの場としても活用を促進していくため、前島地域まちづくり勉強会を開催しながら、観光拠点と地域とが協力しあって雇用機会の創出をはじめ、地域活性化の一助とすべく、地域、進出企業、行政がまちづくりに向けた継続的な取り組みを協議、推進していく。 ○事業終了後のまちづくり展開 今回の事業については、ハード施設の設置完了を持って終わりとするのではなく、継続的な協議機会の保有により官民連携した取り組みを進める。</p>	

市町村決定計画及び市町村施行国道等事業に関する事項

※該当がない場合は本シートをつける必要はない

市町村決定計画

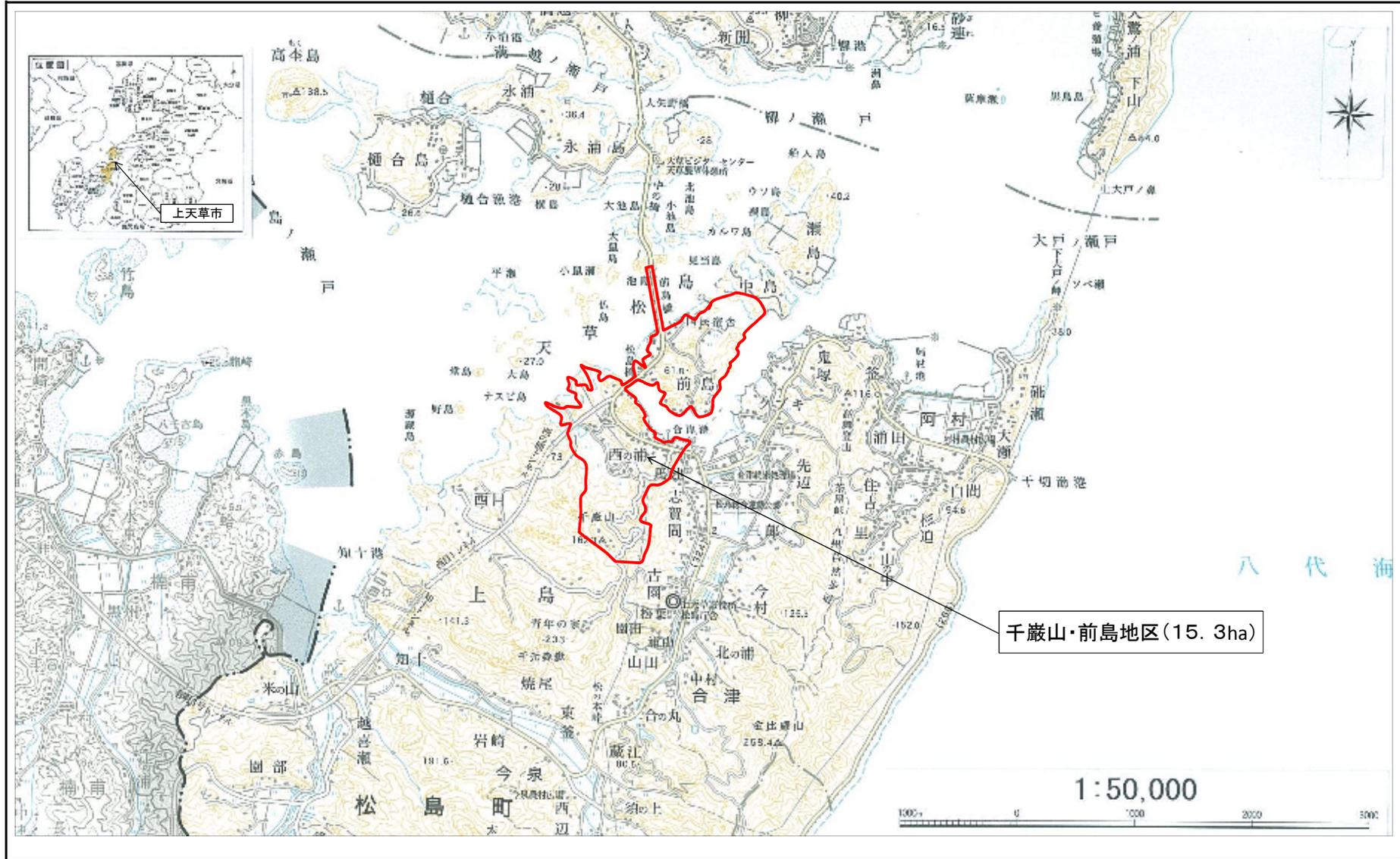
都市施設及び市街地 開発事業の種類	決定/変更	名称	その他必要な事項	変更の概要	都市再生整備計画の 公告(予定)年月日	都市計画の決定又は 変更の期限

市町村施行国道等事業

道路の種類	路線名	新設又は改築の内容
一般国道	国道266号線	国道交差点部右折レーン新設

都市再生整備計画の区域

千巖山・前島地区(熊本県上天草市)	面積	15.3 ha	区域	上天草市松島町合津字前島、字峯地区の一部
-------------------	----	---------	----	----------------------



千巖山・前島地区(熊本県上天草市) 整備方針概要図

目標	上天草の海の玄関口としての観光拠点づくりと景勝地千巖山のユニバーサルデザイン化を目指し、上天草市への観光入込客増と地域活性化を目標とする。	代表的な指標	上天草市年間観光入込客数 (人/年)	137.0万人 (24年度) → 150.7万人 (30年度)
			上天草市年間宿泊者数 (人/年)	23.6万人 (24年度) → 26.0万人 (30年度)
			合津地区交通満足度 (%)	35.7% (25年度) → 39.3% (30年度)

